

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	植物の栄養感知機構の解明と栄養応答統御
研究代表者	藤原 徹 (東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、植物における無機栄養の感知機構について、これまで応募者が先導的な研究を進めてきたホウ素をモデルとして、植物細胞の異なる場（細胞質、細胞膜及び細胞壁）における無機栄養感知機能を構造生物学的に解析するとともに、その下流の様々な栄養応答現象を定量的、統合的に理解することを目的としている。</p> <p>植物における無機栄養感知機能の解明は、植物科学分野の重要な研究課題のひとつである。本研究では、これまでの応募者の研究によって培われた知見と実験手法に基づき研究計画が立案されており、独創的かつ先駆的な研究展開が期待される。その研究成果は、作物の栄養欠乏を低減する技術開発にもつながることが期待される。</p>